「プエノスアイレス十二百同盟」 | らも | 反福軸関は同方面の作戦が如

ツジュウエルズのピルマ作戦論

米誌に緬甸作戰悲觀論

与回の米克の獣に依然スターリン

スリカの多り変徴に続い批判を加・なっのも知らずり微は同意数にはずツタ

大健は「君将がそんなに心間な ることが必要だ」と呼ばしたと 言を語が派布されてゐると言は れる

に撮影するのみであると解へられ

官命された、この特命行政考査は大殿大臣より特に考査官を任

局、鹿児局専慶島などをはじめるべての大殿省関係の地方官僚を第一回行政総否は九州地區に流がて長崎、門司両科関、無本財績るものである

赤化の恐怖去らず

對ソ調整に米英側依然苦慮

日同盟】十三日タス領領が施設し

特命考查制度新設

東月 大瓜中和 6 所行数

めるがこれは従來北部に重数が

各地區に剿滅戰 在支米空軍は釜中の魚

芳澤大使西貢に駐在

ス(用紙、常社ニアリマス) 常社、之ヲ取郷メラ關係官駒ニ申請で定ヲ受ケ製作ヲ致シマ記入ノ 上御送リ下サイ 別の大計畫ノ概况ヲ御對必要ナル場合ハ郭美ノ目的及計畫ノ概况ヲ御

朝鮮アル

金屬回收二對スル代替品」が絶

生產工場、銀行官廳、公共團體、會社

二限リ

紛争全く解消

要となるべきは監然でかくる見、して職事を完造するため、「第一一行かはずである報化の上に占むる地位は「幸重」で発力に関いる董事中日本と共同「10の19本語にい

げたのち軍職へ赴き扱いてモスコ

味するため是非とも長路基地ハリーに損害を脱へた電十三日宮明した 英本土連爆

治癒力强大にし

刺戟なく速に優秀 効果を操ぐ最新外 皮膚病諸疾患L 外耳炎、扁桃腺炎、扁桃腺炎、 裝包 

アサヒコシロ 金山旭工業商會

果樹苗木 ソ聯情報局

営業種目

建電集集代

築氣團團品

設照用用製

月以來約一年十ケ月振りで今回モノ職派即各國外安國以一昨年十一ノ職派即各國外安國以一昨年十一

國係特別ならびに東亞語問題に開

歐洲情勢報告

黒光外相よりその後の欧洲情勢に 「前十時より首相官邸に開修まつ【東京包括】十三日の定例問題は

ことを明瞭に示唆するものであ らう。われらは敵のこの三方よ

しかしとゝに忘れてならぬこと

働、人。精力素 疲勞を急速に回復し常 に活力の源泉となる生 産増强に働く人の坐右 に離せぬ『巻茸トニク』 (部集系影響号) 五五〇乱 三四十七旬 五〇八克 五四七十四月 卓拔なる効果を發揮する精力强進

型测量 慈善堂製藥株式會社

山口大佐補

間に捉へられてゐるとき、

を取譲し、光楽ある星土に一指が敵來らは忽ち決然起つてこれ

說社

國土防衞に決然起て

積極的報告に期待

十七日、第二回九地方長官會議

東大 京阪 丹 季 R

順を纏つて歐機は何時空襲した。しかし合後とも不測の問

これだ米機の新標識

の阿伽には赤で枠をとり中を

±: 5888,

(北方の番地に佐野園軍報道班資温第一陸軍首機砲弾)(上)干古の雪と関ひつく基地建設に熱汗を流す勇士 | 飲成だめ、最近の威励の重視はビール占領を取得として数級に出て、 類葉暗頭などを終わたつて取励は一級一級の 国にあり、赤頭はすでになり自一には結及に勝っているリント| | 日間別、東部戦闘、エルゴロドからハリコブに至る地・観ぜられる。

南北に戦る皇軍

おまでに外交調金部の移動を完了來いも移りが行はれるほうで八月 米の欺瞞剔抉

有力なる增援派遣 獨當局、ハリコフ市確保を言明

經費分擔其の

鮮滿開拓打合會開催

が新いの確保を図ると共にこれ が新いの確保を図ると共にこれ の語句でを歴光的給する ここと。

亞經朝鮮懇談會 市 合憲」を開催・整理の分数での他の意義等に「結構開拓関係を到打

潮間に原解が発げられた機様であ

九月に發行

民の娘の同上に伴ひこれが入極を 設を入植せしめる件につき、縦

東部の展示を指している。 である。 であるが、これが関係については近く観音がなる。 であるが、これが開係については近く観音がなる。 であるが、これが開係については近く観音がなる。 であるが、これが開係についてました。 であるが、これが開催についてました。 であるが、これが関係を表色では、 であるが、これが関係を表色では、 であるが、これが、 であるが、これが、 であるが、これが、 であるが、 でか、 であるが、 でが、 でがなが、 でがなが、 でがなが、 でがなが、 でがなが、 でがなが、 でがなが、 で 來月中旬京城に開催





当り図録に適するはかりか難。何、マンガン、金等の智秀な含句彩を含む彩を引する「動物地域が無態板といはれ、而も未開後のすくになってゐ五派派がら何段頭漆間に爭闘が行はれてゐるといる。未開の地方がある、この地方にはカガヤン河に沿の聖養をる原始状が異線と抜いて 作し竹砂や小船に積んで下江し他の品と物々交換して隔るのである「智麗』上、土椒を繋る原住民 一され原住民選も心から晨軍に協力し概花栽培に、觸物採制に質剣に活躍してゐる、夜等の思葉は原始的な方法により米、原草等を耕 **脱胎母週に必要な木材は勿総のこと、将来比較調立に大きた役割を果すべき。有限の地方の一つとして墨軍進駐り来急速度に治安も** 下、収穫の米を竹和で市場へ

緩急に限じ、食糧の供給を図 得るところの機

日朝鮮食棚管理特別會

ムルマンスクとアルハングル

極東ロシャと厥極を繋ぐ水路

役させてゐるのである、更に 功年々相當派の軍需物資を往

廻ってヤクーツクの定期航空

レンに飛び、更にレナ河口を

じて極北の海と空とを鮮血で

る所となり一大海空間を演

プロピデニー 等の開港に 成

エアパンクスからノー

避領大阪駐在理事金子隆三氏は終

金子理事談

批では際国なる茂山蠍蜒を現在利

會出席のため十三日朝入城したが

【東京電話】日増に苛烈の茂を加 、の强力

めその士氣を昂揚せしめるため國 徴用者をして後膝の駆びなからし となり、今春『以四法人國民懲用

へられてゐなかつた北板圏が

脳陸港であるが、蜀ソ戦勃鋭

努力して來たが、現在前記二

大して戦争と際絶した地でも

鎖合れた地の果で なければ、秋と風に

空軍の大型してその懸発中をリマイカルガ、ノビエボート

北極圏路と戦争

出入する所から、昨年九月郯

港の他に 西から・フアルネグ

を携つて登場して來

が如何に大切な事業であるかが難

國民徵用援護會發足 推進 ても、補給金の園園画雕なる交付 容次の如くである 千二十二萬回であるが、そのう における同国への政府補助金は の大部分を占める九百萬風は締給 に補給金の交付である。

**並の三分の二を補給し、事業主は** 

るが、置ソ米特値デービスや ると見られ、南方路の絶えず 米大使スタンドレ

肺患

に敗收するものであつて、後に

量子となるものである。それでは けるこれに関する

この音引に駆する強質がどうなつ

学派沿か試みるとしょう

出来ないが、いま可能の範疇内で

郷を経て幾市の豫定である、勿嗣

あるが、これには二つの面がある 決威下に於ける食糧の重要性につ いては難しも知ってゐるところで

修理するには、國家が食糧を買り

命されたが、この施行規則も既

性能の國家管理を行ふべき劇期。する理由を述べなければならない

このためには食品に切しの無駄も

歳入は特別會計へ繰入

代價は證券で支出

海運戦争の わが必要態勢

國

民林の增伐督勵

輸送期間中の實施事項

ツ樹水磁による難沈船舶の敷留の を堕ちに現實の取力に轉化すべく るのである。我々としてもこの歌

る現在の船舶建造能力を利して かくして、わが海道の歌力競権

販定すひかへナニ、ナ三の卵日午、飛頭の食品食軽ごを大り質試をは 増減の見知めら十九年度繁質素の、遊し、水田耕作、畑作を行ひ、調 戦潮開拓顕派、特に潮州崎峭底郷、集歌階拓陸の天極は幌ビ一萬日に

右につき敷地一萬坪の買收にあた

決定を以て陸海軍徽用船以外の外

ある。しかのみならず、船員屋遇 も必ずしも解決困難ではないので

である。 他別なる。 他別なる。 他別なる。 でご選び配を寝ひた

東で、原売なる以上は当前祭じ のを、世元女くは後の姿であり、この監

こそ酸米英の最大の弱點でか

も榮養分はとれる!
咀嚼力さへ完全なら

大師の海運転士の整備元員の問題

たるわが配員遠は、わが顕特の國

→朝鮮 証券取ら所實物取らの飛 証時代

設足

سي ا

才

ラ

ろ

0

億

健

康

が持たねばならぬ人間じるで 災"

は と理解に影響のこの情報を育る、影響 をは「に関系なる子弟を添しこの に関系なる子弟を添しこの に関系なる子弟を添しこの に関系なる子弟を添しこの に対象がでいる。 と理解に影響ってあるのである。

一は何ともならの近場である。此な

を行ひ、動性特許登明は必に我がの規定により特許の取消處分など

满日塩麦

大陸幹部として決取物差に突撃する燃鋭では技術館の動期的増展を

科學技術研究所爾

輸送増强に鮮鐵が設立

クロダ圏科

科外京学帯

和給とにわかれ、國軍は補給

木

(性) 地位

性

バート故罐 あ島半る世間長度 元<sup>爾</sup>村編 平 平 南 繁 織 型景德山和物工業 被幣 築 充 株式 貞組模合 會社



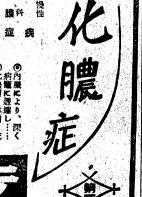


騰<sub>耳</sub>桃 創耳腺

















社會各層とが軍然一億となって翌一ける

心思へねばならない、こゝに過

で展開し掘力な防疫陣を張つてゐ 配修チフスの撲滅運動は全鮮各地

著しく滅じ、いま一押の域にまで るが七、八月に入つての競生数は

いから宗自に一世からの。由質指導

製造の月間観成日選日に一部下信・一部無理解な下管屋に裁し猛省を置め中には通常通り的末路影响を一使した 下宿屋さんにお願ひ

錬成日は早起き

く縁度げられ殊にソロモン海域を壊骸に航空決戦は戦となく役とな

て航空電波配の徹底分子となり歌」を第一回常空夏季航機は難徹町年島逆の都段を促し一般國民地け」をうゑつけ郷、恩鑑の武動を置 ※英粉部に、《萬勝十萬の名の精鉱 の道場成北吉州越南山台地で十条美粉部に、《萬勝十萬の名の精鉱 の道場成北吉州越南山台地で十条美の

敵空制覇へ學鷲の訓練始る

(本語の小像にも日本の残を成) 関における最初の傾向者が変態は、数世名が関せ自物電音響のもとにようとする米面電影は大統領、させ大鬼地の窓も牧りと別等の人。 を行るが京郷中、四名は十三日平三年を助員した。 我等も部隊「が無衛光翼に減く青年暴売じ、が、前十段五十分長級特別がほどれる部電決成に経済を青 ちてしたませくの駅高な常蔵情報「現地に向った」

数と空の決談は前烈使伯の度一の荒綻に三磯を殿墜されて譲走し

愈々十六日頃から開始

雛鶩、郷土で講演

め鬼音米機は黒魔の難替をた

けることになり、朝鮮でも半島出

字面り第一級には懐 形局に行列を扱め文

限けられてある。

犯した罪をもつ者は今こそ國に報

藤協會では各司法関係署の協力と 網督府及び各道の後援のもとに來 ない、國民標力聯盟、朝鮮司法は

共にこの緊迫せる決戦下、過去に

ら温かい教ひの手を差し延べると一般完全の一本街道を邁進せねば

可法保護運動展

端を描い起ち、或は國土防衛の職

温情で明るく

懸命の努力を傾けてきたが、こ の員も認迫した金融地域の一得した同組合本部は、養常 以付を完了した、百五十萬

取時下の哲学問題は一郷たりとも

域では自ちに野務者住宅に重點を買家組合に更に貸出すが、この地

富田翁の銅像

、歯事で献納

全鮮の貸家組合愈々乘出す

拍車

拍車をかけることへなり、

置いて建設に指手、生産力増強に

近く行はれる企。整卿から遊休 ・ 別紙などの住宅活用策も ・ 食店、別紙などの住宅活用策も ・ 食店、別紙などの住宅活用策も 見道、中非恩校生徒に對しても一京城協科協立では同校の創立者政
放送闘などを行びまた國民恩校 鍬の戦士へ教本

窓図班、象教戦成道場の中部の場合には関係の本部と大東部政

**益) 語 鎌 (原岡 指夢遊)** 

の職得、食物増産など必須な 領より脱き起し、皇國区

> ものである 1880年於,經過原鮮時空

戦ふ前線へ

崔承喜慰問行



戰時農民讀太 黃海道 大きいものとして概念 せしめる数材で苦心のあとが 組はれる、これは碓井知事自

一島の郷始俗派器の一行五名はチ

器直ちに朝鮮經由湖洲に向っ委も頭々レく十三日朝富士で

将兵を約三月に買って献間する下開電路1 湖州、北、中文の前

けることとなってある。 一行ひかりで北行

年重数千萬四にのぼった『白萬

理修兵部の指示により計問を確が一行は先続隊と安東で落合ひ

ツト減つたチフ

頼もしいぞ戦ふ銃後の豫防陣 ス患

支に向る 大陸取線に専取基間する量単位間(釜山電路)後承登舞前四一行は

般公演を行び九月十五日 は漢方際にはなくてはならぬ

> 取扱ってゐるのでこの方は疑しは 案は随することになった、朝鮮人 を三大基本對策なして急速に立

りの「相参」となり取びは「人参

後兵戦施にともなび駅川

繋心に顕著中である

種類に分れてあるため現格が張れ

憧れの荒鷲志願

僕も負けずに鍛ふ

めで總督府では決戦下の路襲確保 大事とばかり十一、二の兩日に 特別航空練習生試験場に参集の

脱場に続け、母校の名型にかけて

7無難専門泰」が 淋巴腺糖

とラジオ

(版) 單(級

開業

挨拶

いな質を台なしとすることに

は、折角質でたこの路峰の質を

志図の血は跳ってゐるのだ、

加採税見智士官を目指して欧

役以上の感生や出身者も陸軍職

Q別旅 INI

验防館

御厚誼を拜謝し

大戰陸 郎男男

超を機関した。機関の機関に南流する官々何々密、航空兵の將來について披露、大路への機関で、航空兵の將來について披露、大路への機関

数の骨間に欲するかに見えた、糖素の羽押きを

びの眸を輝かす独師に迎へ め見巡へるやうに選しくな をもつて力照い第一瞥を唯 数で若い際に烈々な氣魄

見物士官に合格、風味半はの

船(高松指導能)数(高松指導)制・不の間、破路(本図指導能)局 回金織建動機付機率航空機物針大食を開催するととした、この高記段器像を数官される階氏をり出さればならぬ。本針は石目的を以て、動態側が航空機と相談がし、航空日を制に第十巻り出さればならぬ。本針は石目的を以て、動態側が航空機と相談がは、航空日を制に第十巻の航空機器を は指導者たるの自転を以て、版く全部より無つて本大會に参加されんとを認む次第である。 皆々は如實に艦級した。航空知識を國民が持つてゐるか否かは一級の極劣を決する。これは 今回の大東亜競争、欧州の政局において外側に空街の活形が、13の近向を定石してあるかを 時所 京城第二飛行場 (放美品)

九月五日(日)

自作に依る機能をあべきこと、 取級及び了多加資格 ― 中路壁線生産以上、蛇一般 (数食は各自投祭し、寫真版は開行せざる群) 名一機叫一機害CAF 十前九時開會) 爾芙里爾耳順延

表彰 日(十九日に繰上ぐ)模範 を授即す

皆川氏講演

開始に各面兵事々数及び自 B校その断に省る各面駐在所 元司法次官皆川治版氏の來解を機

電氣用.無線用

相談ノ質

ならぬ重要な資材であ 甲製があって各戸に加 その他で熱心に提唱の

**政簿記學院** 日本醫樂研究所









可許督總鮮朝



更遭

府では在湖半島人肚子

一十日まで

一名にて三

百五十時間の鉄成を行る

主催 京城 日報 社

姿を見せぬ、白夢

| 一部と古き | 別説を参わ | 「見格の統一」」「配給明路の統一」 | 一部においては野野者を主義。 | 「別名の統一」「「配給明路の統一」 | 一部においては野野者を主義。 横流れ防止へ本府で對策― 各般に見り 路端に遊覧な きを切り 訓練を展開する る、極力をあげて晴れの明年四月

勝演會を開催するが岩川氏は『大 國民総力朝鮮歌剧では鮮内各地で

意思力行九年総にこの

·振出銀行

1、宛玄銀行 電話

八書進呈





一スルファミン剤 山之内

に次ぎの派く放送『尉を一掃し明るく正しく生活せよ』と韓嗣した

明るく正しい生活

主 を は 影響経道畑 旨要送放長

各家庭の協力を望

なつた、この機會に各家庭の消

## 子供はお國の寳

つた訓示『民衆に親切たれ、事物 定例局長南藤席上で小機網州の行

電役所の運 ので再検討 で再検討

の子間に思まれた妊婦にひも

◆われ等あくまで簡素にし ◆かうじてわれ等この大御 歳に勝ち扱かむ **乳炉すべてを成力均弱** 

國民武陵による歌もてし止まむの

全館に割けて中属明治町町像では一その日から約一ケ月間に宜り毎既

明治町分會の銃劍道納會試合

突必殺の闘魂

決戦生活の暫ひ

離力 肝殿 閉鎖路 属文部では各島文 | 一同種々 思談をとげて 決慰生活の | して 肝腹脈に 辞尹以下幹部の出版 力强い誓ひの齊唱 決戦生活へ百世萬府民が豪ら

を求め、属役所の運営その他

P型大衆殊に家庭の生活面を撤 性粒を 達成するには 顕極に於

大東亜戦争や勝ち抜くためには銃 生産の増强へ

龍山署の座談會 後が一丸となって生雨駅力増殖に

に政闘する商業取士の必勝信念を

松宮特許事務 特許商標

加温剧省

女性疾患治療界へノ 現代科學が産ンダ 大朗報 疲勞恢復~產前產後 四肢冷國~食慾不振 子 宮 病~不 姙 症 水 折 折



感謝に應へ買心の合唱

白衣の勇士から逆に激勵受く

享樂面の自肅

**壁路署で業者を集めて評定** 

今富本店

大田用達

虫虫は健康

秋岡商會

フィルム



工場・大安商電話の三五九〇 東新・精撰・引受いたします。 大安商車は 成分表車は

六日小森場合へ代表取代の元田小森場合の

根切り薬

| 昭和時八年七月以命同号計 | 後山地方法院| 昭和時八年七月以命同号計 | 後地地方法院|

京日案内

賣場出納係採用

5

原語 公告 記公告 一三、明和別人年七月版

談具の主学な

安 二 日本ニュース 日本ニュース - 兵 四 部

敵の上陸企圖粉碎

敵軍事施設を爆碎 魚雷艇群に命中弾 **我水上機械、索敵必殺**災活躍



レイ、英國大使リン宮において



獨大本營、戰況を發表

ルはカナダ代表との舒淑を終へ十一ケベツク來電 | 英國資相チャーチ に関する環道は一切禁止されたとは、事質だが、その後米 相の一行はナ 由米國領土へ

胃腸補服に 年度後 作化を進め 消化を進め を時ぎつよ を時ぎつよ

ル

朝鮮一 納凉藝能大 (月十四日) 流名人大力演!! **嗣歌** 第一劇場

金科比革证的 一共138十五 (共和)

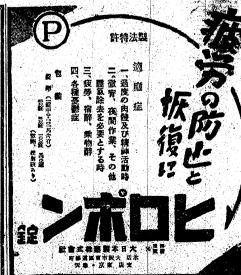
筋|神痛|經 二十分しつぶ撃人 腰痛 粉末 100萬 1四 ロイマチス ح 社 會 式 株 葉 工 品 藝 澤 藤 海上・北台 城京 京東・阪大

絹紡を迅速に切換

重慶の勝利欲せず

不英の野望は支那分割

東京 五页田 星 製 業 株 式 集制



の触心ハワイ、ミツドウエイを蓋しれない、南方攻路は現に危惧まつ中央進攻路であるが、太平洋しいへとも戦攻の際は物じて速

備されてゐるか鑑攻路は如何に整

し親ってあるのである

由の一つは原形

邀撃粉碎へ布け鐵の防空陣

反攻に焦躁

の足踏

は簡じて敵の反攻企圖が終場」ともに世界軍橋強敵のうち他に求 進撃は續く敵米のこの敗残の

ることを銃後の我々に敬へてくれたのである

候に對するに更に新規なるわが販監機は販膳の地上防衛 と相呼吸して壯烈果敢なる猛攻空中歌闘をもつてて

の激烈製備な叫びから即時到日

へられ、航空機製作工員若干が急



関々・電撃の利鎌

かくて江原水烈烈(忠南定山島 区域第年の前お来来とそうのにっかくて江原水烈烈(忠南定山島 区域第一部の中央 で、江原水烈烈、田原山島 区域第一部の中央 で、一、一大水河湖、田原、徳東本との、今後職なく晩価、四部過ぎ続く、ある者を見て寛妙が決るまで、なた続合郷在の御風と吹って事数しめる。 『『歌き十時半から第二號技場で物』を決定、十四日午前九時から孫信

通信受付期間延期敵國在留同胞への

留する間限に到する孫信は日

席臨督總磯小

の共同主催で十三日ギ

これより先全戦各道の囚禁夙役、数臨席の下に熱圏かけて開かれた

が武堂々と永城街路を行進、帯大をしつかり探りしめて陝伍を脱へ

生ひ茂つた前原の中を縫つて質

年齢にお構ひなり

鍛へる本府・月曜から總錬成

闘魂迸る全鮮草刈競技大會

表されたが同社ではこれをは

年間、午後一時から第三競技場で

家の海山秀雄(ま)と飲食中些細な 日書主の欧知道(中)は五日夜降長淵の殺人(長淵)邑

日歌壇 吉井東進 職られたが八日午後八時途に死亡 秀雄は長龍塔で取開中 

ではずれず収録、統列帯に関係 で、親長さん、さては局長さん誰 で、親長さん、さては局長さん誰

概々第二段階へ奏入して経々者總行されてこゝに五箇月、八月から つ脈制的な鍬成として最高度に頭

2 向随日11日——明今京庆时《今京后两头时三二时间间和邮令 日本证明果帮新的资格的形式和新玩玩员用苏斯尔和斯原思考院。 12 在资本支充过三名"营资合金" 565至至五量署签653置 他 他 他 日本证明和特别的工作的全部的工具和型日三时提供公司的理时是使 他 周波 奇之 三菱重

技場を一巡、廿晋の程

施員線成施行規程を映正した力なものにするためこのほど本府

電波戦に一丸の共榮圏

放送會議へ東上の近藤氏語る

川崎重工業一時子、意 

近欧州事は西道ホテで少郎中次の

**建原程**{皮膚科·化腺症

我終に加むの で來て飲を 1 . しつた いさなり 中晚上 高決定版/武藏映書の最 央劇

の供物やら を がみに、

的占据代理总统服务的 南解释 答案 所 中的工改良焚口 大田禄春日则于自己C 民田禄春日则于自己C

入れ交びにどやどやと町

こに居る

ところへ

がする。



乳明は、蝦を舌はき、蠍を取り いはゆる間を踏み立を仰くといる 霧の密に坐ったまくうしろ向きに よりしなら。 

ものに見 たびに熱 生産戦は 必勝への貯蓄 銃後の勉めだ 株式投資 は

部の行と



店商藏清海内 町台明城京



砂糖の

用の素

けかの市況(土

特世長五麻拔

別大賣出

券證

鈍 調

募 特約店

在滿學徒の總進軍 ではないか ではないか

國防と勤勞へ

・たと原生対域の温暖がある。 一、別数条部では昨年六月廿日日本人・たと原生対域の温暖がある。 一、別数条部では昨年六月廿日日本人・ 助目標を決定、明年度より政施す

月の祝を挟んであるのだつた。 一年中で一番季節のよい連校八 一年中で一番季節のよい連校八

を疑らに ぬの構造す

[219]



